



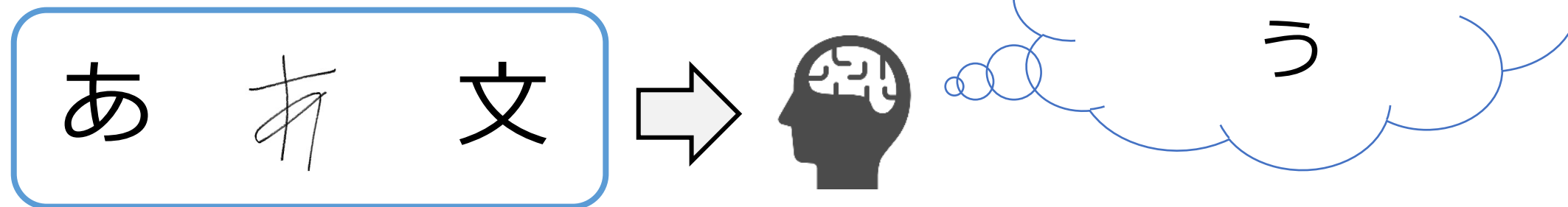
村田研：研究紹介「脳型情報処理」

- 発表者
 - M2 吉田 理沙
 - D1 関 良我
 - 小南 大智 助教
- 以下の流れで最後に1つの研究テーマを紹介
 1. ヒトの脳の認知機能：文字を例に
 2. Bayesian Attractor Model (BAM)
 3. 生体情報を用いたストレス推定
- 研究内容、それ以外の質問等、いつでもOK
- 見学会当日は発表者の顔が同時に映る予定です

いつでも待機していますが
もし反応がなければお声がけください

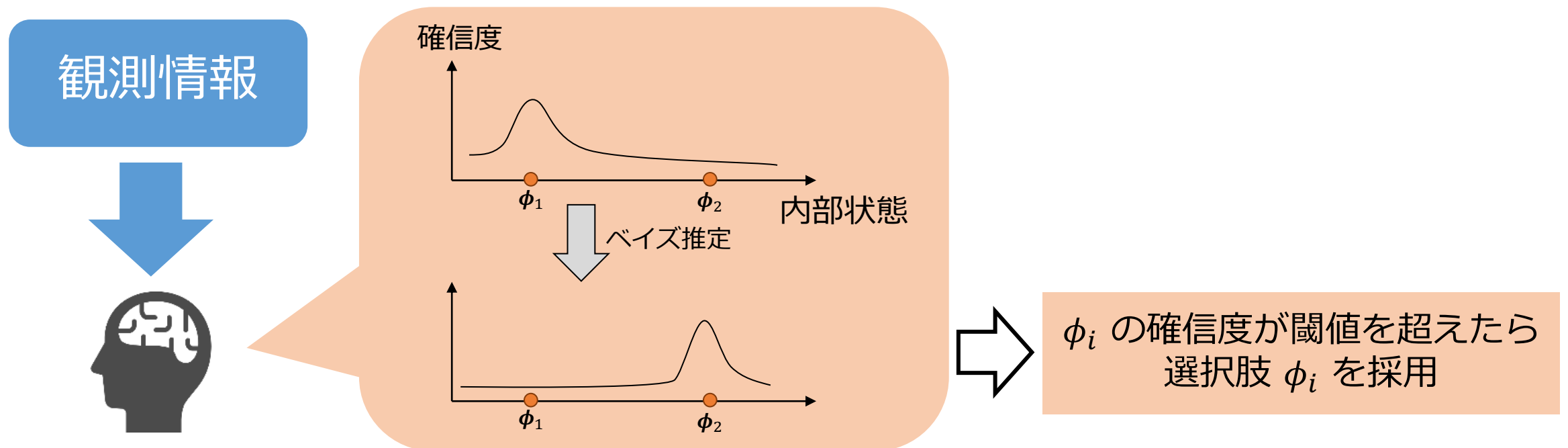
ヒトの脳の認知機能：文字を例に

- 少量のデータで判断
 - 同じ文字を何千回も学習する必要はない
- 不正確な情報から判断
 - 文字の形が多少崩れていても読める
- 環境変化に対応
 - 新しい文字もすぐに覚えられる



Bayesian Attractor Model (BAM)^[1]

- 人間の脳を模倣した意思決定モデル
 - 観測情報を基に、事前に設定した選択肢から適切なものを選択
 - 観測情報から一定時間毎にベイズ推定で事後確率密度 P を更新
 - 確信度 (選択肢の事後確率) が閾値を超えた選択肢を採用



生体情報を用いたストレス推定

